

稲沢をはぐくむ
新しい力

ほがらかにパワフルに!

ごあいさつ

選挙を終えて半年間、皆さまに温かく見守られ、時には厳しく育てていただきました。暮らしのお困りごとを解決、改善をする活動に取り組み、令和5年12月と令和6年3月には議会で一般質問をさせていただきました。このようなことに日々努力を続けております。政策実現のために任期をかけ、全身全霊で、取り組んでまいる所存です。稲沢市をはぐくむ新しい力としてほがらかにパワフルに挑戦してまいります。

日々の活動



10.7
2023

稲沢
サンドフェスタ



稲沢まつり

10.21
2023



10.28
2023

福祉まつり



11.5
2023

平和まつり



そふえいちョウ
黄葉まつり

11.18
2023



大鏡餅出迎え

2.21
2024



九区新春公職者会議

3.3
2024



長岡餅つき会

3.10
2024

土岐優子のプロフィール

生い立ち

1970年7月、稲沢市にて3人兄弟の長女に生まれる。高校・大学在学中に海外でのボランティア活動に参加する。大学卒業まで稲沢市で育つ。

最終学歴

愛知教育大学障害児教育学科卒業

現在の職歴

稲沢市議会議員

その他の活動

社会福祉協議会『生活支援体制整備事業(祖父江ささえあいネット)』委員、街・自然・人をつなぐ市民団体「プレーパークときわ」役員、稲沢市長岡小学校読み聞かせボランティア、稲沢市さわやか隊、地域をつなぐラジオ体操



市に働きかけ実現されたこと

- 1 母子に対する支援の強化を目的として、産婦健診が産後の初期段階で1回から2回になりました。（令和6年4月1日～）

実現に向け市への働きかけをしていること

- 2 ゴミ出しだけが困るという方には市の職員が1回／週ゴミ収集に訪れる「ふれあい収集事業」と、NPO法人等から派遣された有償ボランティアがゴミ出しや掃除などに訪れる「介護予防・日常生活支援総合事業」があります。令和6年3月議会で、稲沢市のゴミ出し支援について質問したところ、副市長から次のような答弁がありました。

「ゴミ出し支援について、関係各課が協力し、他自治体の事例も参考にしながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる体制整備に努めてまいります。」

地域力を活かした共助によるコミュニティ支援、支援金による共助の支えのあるまちづくりへと働きかけていきます。



- 3 学校の再編について、令和5年12月議会では学校施設整備基本計画案のアンケートや説明会のあり方を質問し、「保護者や地域住民からの意見聴取といたしましては、パブリックコメントを令和6年1月上旬から1か月実施いたします」との答弁がありました。（令和5年12月定例会より一部抜粋）
結果：意見提出者延べ170人、意見件数424件（HPより引用）地域コミュニティの維持についての質問には市長から次のような答弁がありました。

（新しい学校）

地域の活性化に繋げることができるよう、地域開放可能な多目的室や会議室、学校図書館などを新しい学校施設に整備を検討する。

（廃校跡地）

防災や地域交流のための機能を存置することについて検討するなど、旧来からの地域とのつながりも大切にしていきたい。

地域住民が具体的検討組織に参加できるよう求めてまいります。

